

平成22年5月19日
東海旅客鉄道株式会社
飛騨森林都市企画株式会社



地元特産「飛騨ほうれん草」の栽培開始について ～「タカネコーン」に続き、新しい作物の栽培をはじめます～

岐阜県高山市高根町日和田で「チャオ御岳スノーリゾート」を運営する飛騨森林都市企画株式会社は、昨年からは農業へ参入し、スキー営業を行わない夏季に、地元特産のとうもろこし「タカネコーン」を栽培しています。

今年は、スキー場のある高根地区の休耕地をさらに借り増し、地元特産の「飛騨ほうれん草」の栽培にも取り組むこととしました。

「タカネコーン」に続き、「飛騨ほうれん草」という良質な地元特産品を栽培・販売することによって、これからは飛騨地域の特産品の知名度向上に貢献していきます。

1 場 所

- ・高山市高根町留^{とめのほら}之原（チャオ御岳スノーリゾートから車で約15分）

2 耕作面積

- ・約2,200㎡（地元農家の休耕地を賃借）

3 栽培方法

- ・賃借地にビニールハウス（14棟）を設置して栽培

4 販売方法

- ・ジェイアール名古屋タカシマヤでの販売（7月下旬頃）
- ・地元販路の活用
- ・チャオ御岳スノーリゾートHPによるインターネット販売 等を予定

5 スケジュール

- ・平成22年6月下旬 種まき開始
- ・平成22年7月下旬 収穫・販売開始

※「飛騨ほうれん草」は、本来冬野菜のほうれん草を、涼しく寒暖差の大きい飛騨地域で夏に育てるもので、葉がやわらかく、えぐみが少ないと評判で、夏場の京阪神市場に多く出荷されています。

※ 昨年好評だった「タカネコーン」も栽培します。収穫・販売は9月上旬頃の予定です。（本日からチャオ御岳スノーリゾートHPにて、予約販売の受付を開始します。）

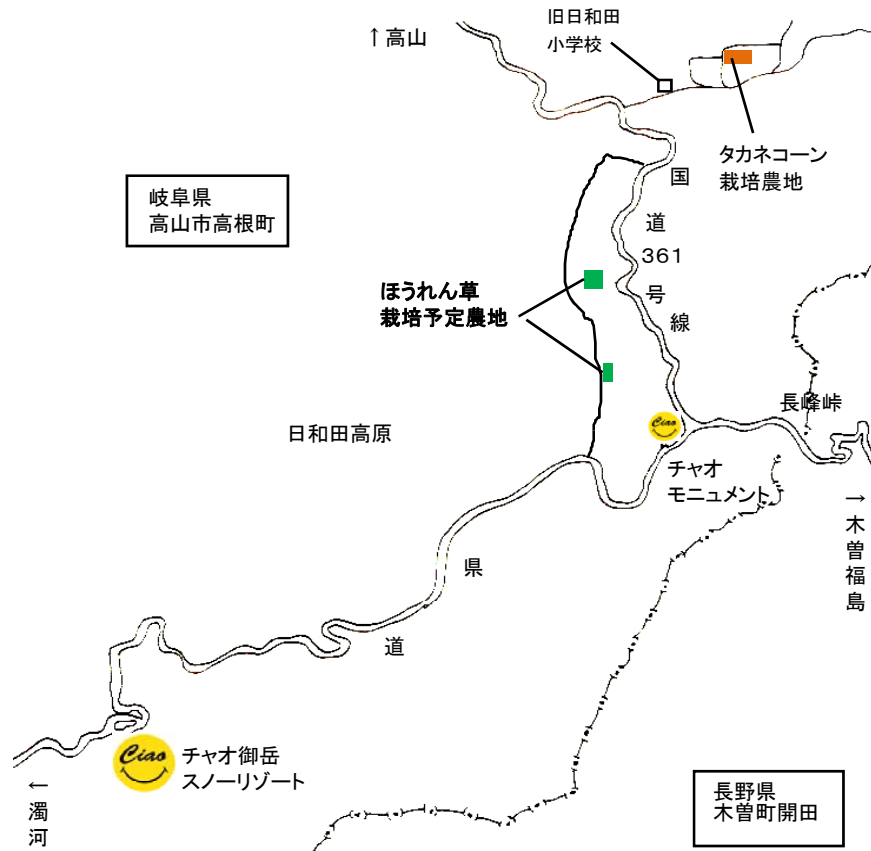
飛騨森林都市企画(チャオ御岳スノーリゾート) 新農地概要

とめのはら

高山市高根町留之原 — 耕作面積 約2,200㎡

最寄駅: JR中央線 木曾福島駅から約40km

※ 車で約1時間、チャオ御岳スノーリゾートから8km



ほうれん草 栽培イメージ